

バローHD、2部署新設

1日持ち株
会社に移行
リスク管理と海外事業

バローは28日、10月1日の持ち株会社への移行に伴う組織変更を発表した。グループを統括するバローホールディングスに、リスクマネジメント部と海外事業部を新設する。リスクマネジメント部は、各拠点の商品の安全性やコンプライアンスなどの情報を集約し、リスク管理を一括して行う。海外事業部の会長兼社長と事業会

は、これまでスーパーマーケット(SM)事業戦略事業統括本部にあった、韓国の合併会社が開発するSM事業などを管理する。事業会社として、SMの「バロー」と、ホームセンター(HC)やペットショップ事業を承継する「ホームセクターバロー」を新設。バローホールディングス環境で経営効率化を図る狙い。

社バローの社長には、バロー会長兼社長の田代正美氏が就任する。また、子会社のビックポンドストアー(静岡県岡島田市)とVマート(福井県福井市)を来年1月1日に吸収合併する。両社はいずれもバローが100%出資する不動産の管理会社。子会社の整理の一環で経営効率化を図る狙い。